

2014年3月期 決算説明会資料

ブラザー工業株式会社

2014年5月8日

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2014年3月期決算のポイント

売上高

■ 6,168億円 (+19.5%)

中期計画達成に向けて、順調に成長

営業利益

■ 433億円 (+45.4%)

為替の円安効果により、先行投資などの固定費増を吸収

経常利益

■ 356億円 (+53.9%)

前期に続き、為替予約関連の損失を計上

税前利益

■ 335億円 (+20.0%)

前期の特別利益は一巡

当期純利益

■ 192億円 (+7.8%)

税効果会計の影響による税負担率増により、微増益に留まる

2014年3月期決算のポイント

P&S

■ 売上高 4,308億円/+22.8% (+4.4%)

欧州底打ち。消耗品需要は堅調持続

P&H

■ 売上高 432億円/+28.0% (+9.1%)

魅力ある製品群で、顧客層を拡大

M&S

■ 売上高 631億円/+2.7% (△9.0%)

工業用マシン回復。産業機器もIT中心に堅調

N&C

■ 売上高 476億円/△5.0%

機器販売は新製品なく減収。店舗事業へのてこ入れ実施

工業用部品

■ 売上高 161億円/ (新規連結)

海外売上増に向けた施策を実施

CS B2015の基本方針に変更なし

2015年度 業績目標

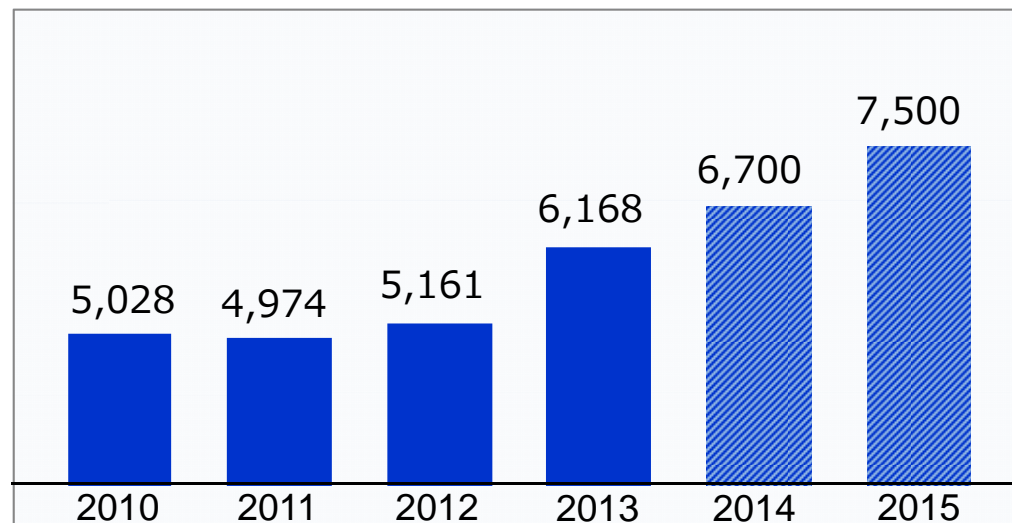
売上高 7,500億円

営業利益 580億円

営業利益率 7.7%

全事業、全地域での成長

- 新規事業・新規商品の育成・拡大
 - 新興国での拡大
 - グローバル戦略の推進
 - M & A、アライアンスの推進



2015年3月期見通しのポイント

売上高

■ 6,700億円 (+8.6%)

中期計画達成に向けて、全事業・全地域で高い目標を設定

営業利益

■ 470億円 (+8.5%)

戦略的販売投資などの費用増を吸収し、増益を見込む

経常利益

■ 430億円 (+20.7%)

為替予約関連の損失は前期で一巡

税前利益

■ 580億円 (+73.0%)

固定資産の売却に伴う特別利益を計上

当期純利益

■ 460億円 (+139.3%)

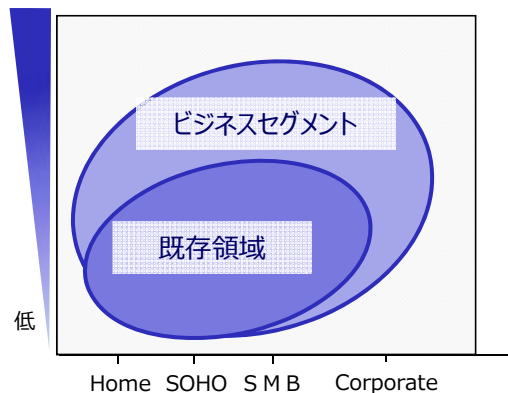
税前増及び一時的な税率の低下により、大幅増益を見込む

＜すべての地域で積極的な販売投資を実行し、売上を拡大＞

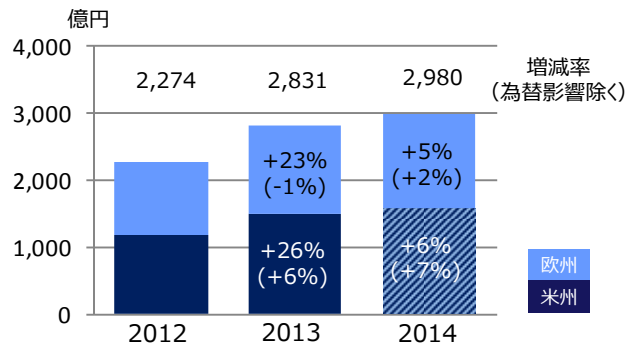
先進国

- 重点施策
リテールチャネルでのプレゼンス維持
とSMB顧客向け販売投資の強化

高 プリントボリューム



＜通信・プリンティング機器の欧米での売上高推移＞



新興国

- 重点施策
モノクロレーザー新興国モデルの
拡販に向けた、チャネル施策の強化

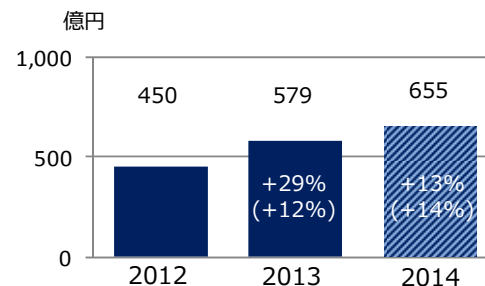
- ・プロモーション活動のサポート
- ・セールス人員増強
- ・新興国モデルの強化



HL-1110

MFC-1810

＜通信・プリンティング機器のアジアでの売上高推移＞



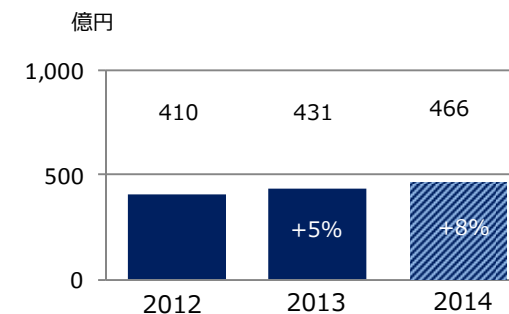
日本

- 重点施策
インクジェット機のシェア拡大施策
の継続

- ・積極的なマス広告戦略
- ・年賀状アプリによる訴求



＜通信・プリンティング機器の日本での売上高推移＞



サービス&ソリューションズ事業

<スキャナ>

- 重点施策
商品競争力の強化とソフト・サービスの充実による付加価値の提供



ドキュメントスキャナー ADS-2500W ポータブルスキャナー ADS-1500W モバイルスキャナー MDS-700D

<ウェブ会議>

- 重点施策
 - ・SMB顧客に対する能動的な営業活動の実施
 - ・技術者によるソリューション提案の推進



Web会議システム
OmniJoin

電子文具事業

➤ 重点施策

- ・オフィス分野での安定成長の実現
- ・ソリューション分野での成長加速
- ・新興国市場の拡大
- ・新規カテゴリ-製品の投入



ラベルプリンター
TD-2130NSA

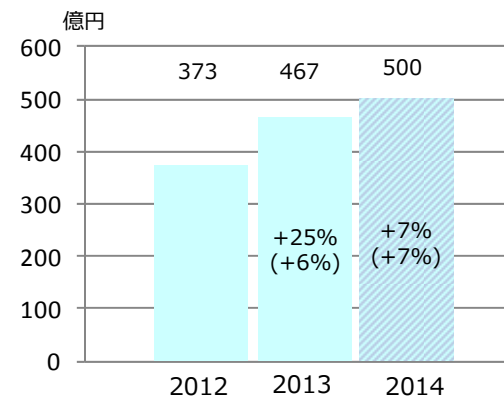


ピータッチ2730



モバイルプリンター
PJ-673

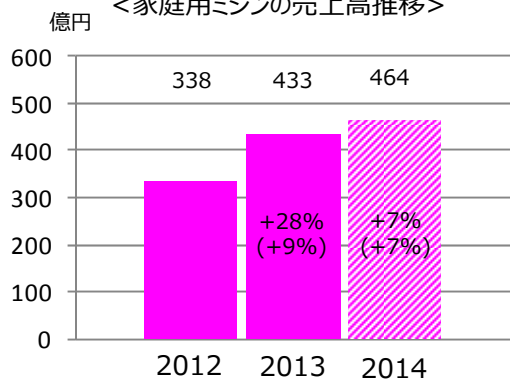
<電子文具の売上高推移>



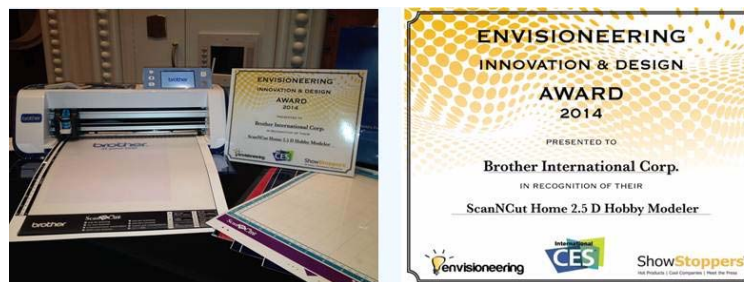
<ホビー領域および新興市場開拓の強化>



<家庭用ミシンの売上高推移>



「ShowStoppers@CES」で「INNOVATIONS&DESIGN AWARD 2014」を受賞



＜新しい付加価値の提案と販売・サービス網の構築＞

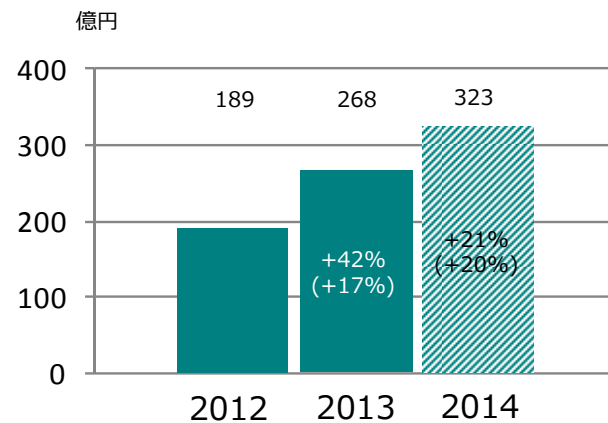
＜競争力の高い製品群＞

- ・ユーザビリティの高い本縫い機によるシェアの拡大と、付加価値の高い製品群による顧客満足度の向上

＜アジアにおける販売力の強化＞

- ・ブラザーマシナリー・アジア（BMA）設立(14年4月)
→アジア市場への縫製産業シフトによる市場の拡大に対応するため、アジア地域の販売会社を再編・強化。
顧客接点力を強化し、拡販を図る。

＜工業用マシンの売上高推移＞



本縫いマシン S7000DD



プログラム式電子マシン
BAS311-H



ガーメントプリンター



ボンディングマシン

<自動車・2輪顧客向け販売力の強化>

<重点施策>

- ・中国、東南アジア地域でのテクニカルセンター、
人員の増強
- ・定期的なカスタマーサポートの実施
- ・技術サポート力の強化
- ・新製品の投入

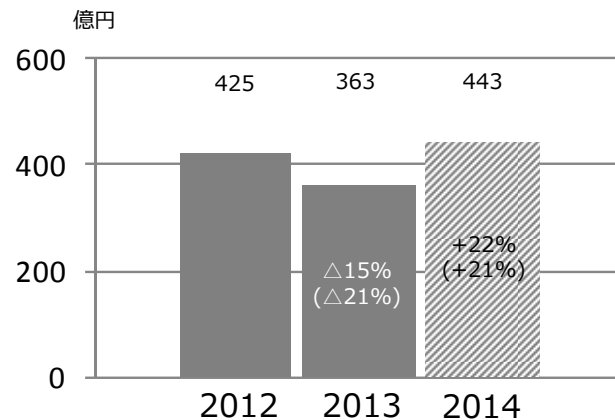


SPEEDIO
S500X1



SPEEDIO
S700X1

<産業機器の売上高推移>



SPEEDIO
R450X1



複合加工機
M140X1

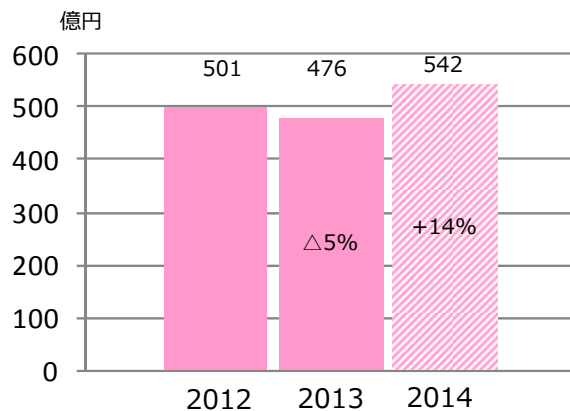
ネットワーク&コンテンツ事業

- ✓ メディアクリエイトの統合及び新規出店によるカラオケ直営店舗の充実
- ✓ カラオケコンテンツの海外展開
- ✓ オルゴールなど、コンテンツを活かした新事業の推進



Primotone

<N&C事業の売上高推移>



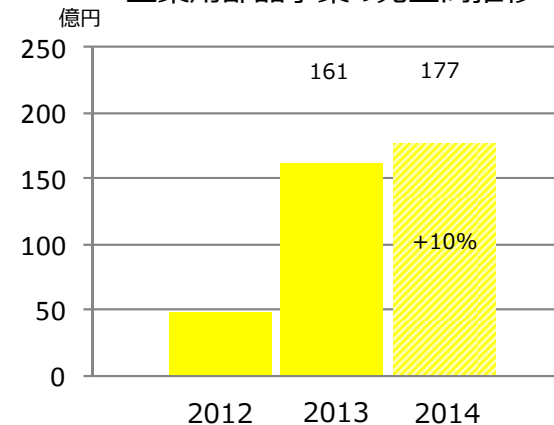
工業用部品事業

(株)ニッセイとの早期のシナジー実現のための活動を推進

- ✓ 2社協業により米国事業を強化
- ✓ 製造設備の更新による生産性の向上



<工業用部品事業の売上高推移>



※2012年度は連結後の第4四半期のみ

資産効率の向上のため、保有する賃貸不動産を売却



- ・資産名称 ブラザー・交通公社新宿共同保有ビル
- ・譲渡先 国内法人
- ・譲渡価格 17,000百万円
- ・簿価 695百万円
- ・譲渡益 16,302百万円

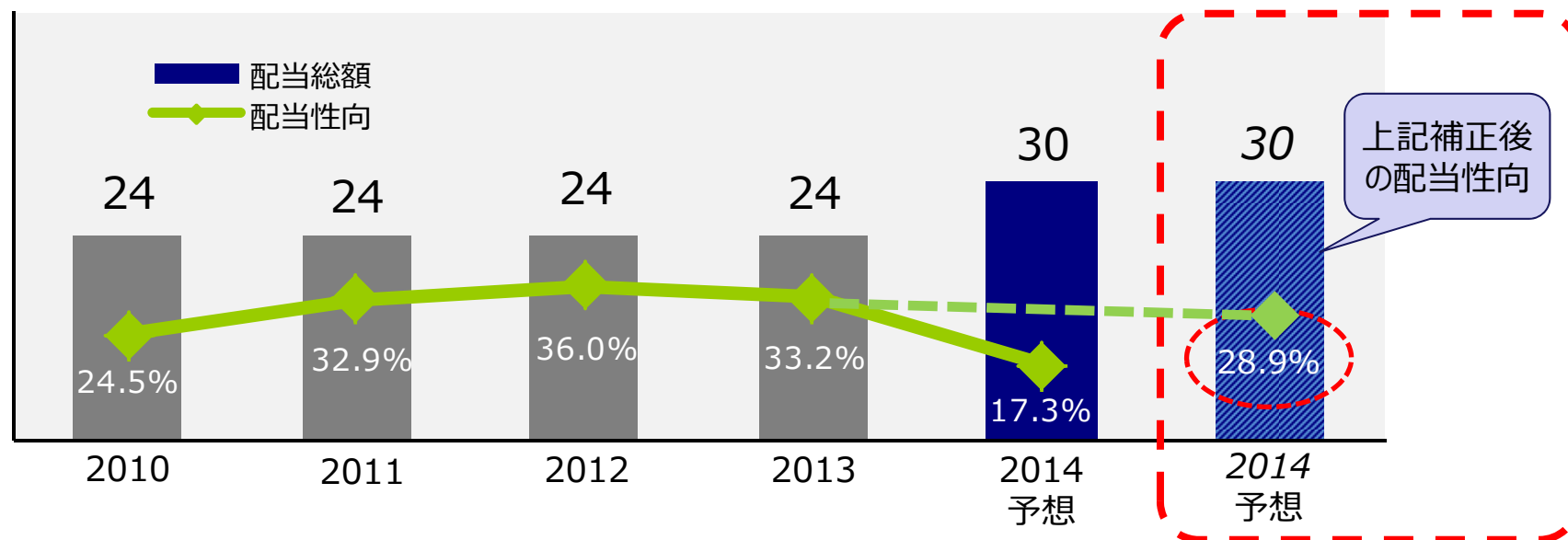
- ・今後のスケジュール
 - 5/8 取締役会にて決議
 - 5/8 契約書締結
 - 5/29 物件引き渡し期日

- ・業績影響
譲渡益（16,302百万円）を特別利益として
2014年度の業績予想に織り込み

- ✓ 連結配当性向30%程度とする基本方針に変更なし
- ✓ 14年度配当は年間30円へ増配。安定的な株主還元を実施
- ✓ 固定資産の売却益を原資に自己株取得を実施（上限100億円）

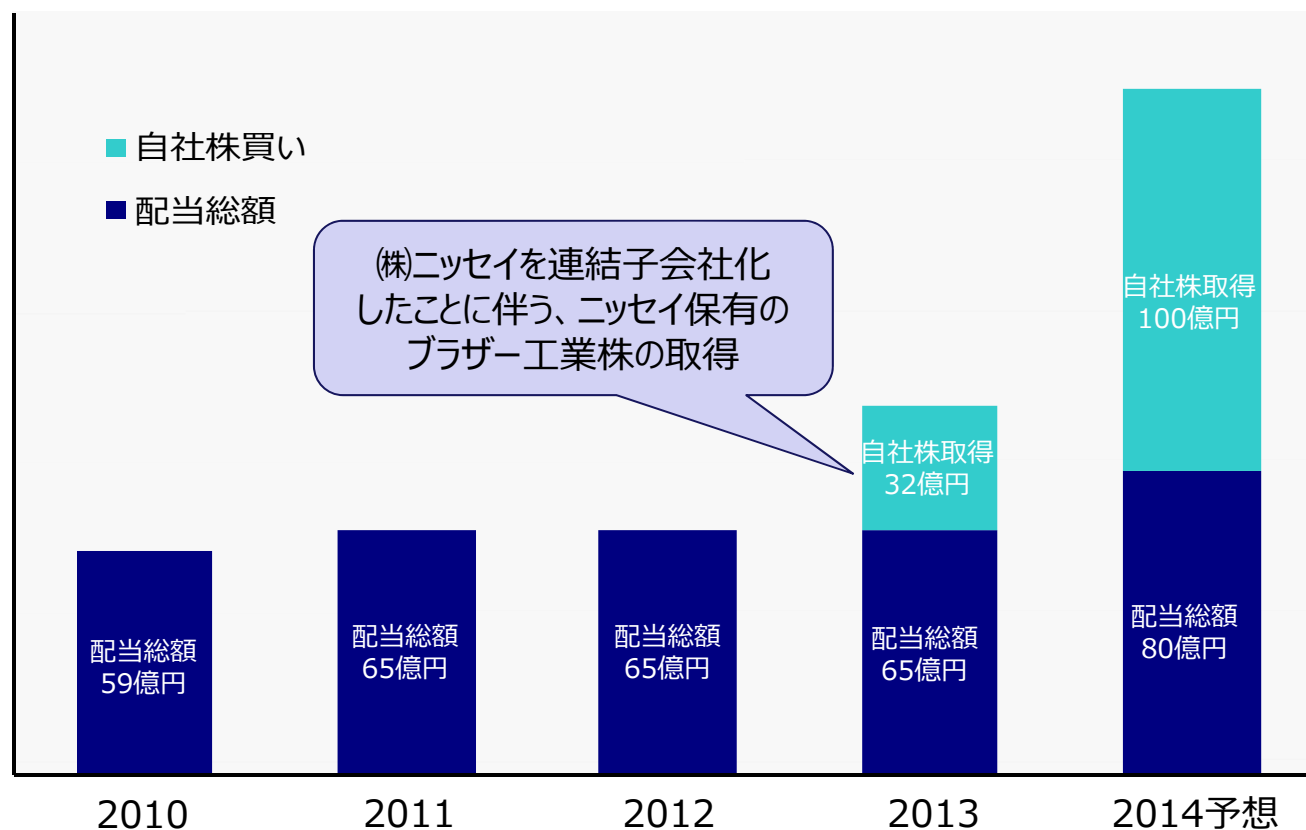
<14年度配当予想の算出について>

- ①固定資産売却益（約163億円）を除外し、税前利益を算出
 - ②08~12年度の平均税率（約33%）を用い、14年度の当期純利益を算出
- 一過性要因を補正した予想値を基準に、配当金額を決定



株主還元強化

- ✓ 連結配当性向30%程度とする基本方針に変更なし
- ✓ 14年度配当は年間30円へ増配。安定的な株主還元を実施
- ✓ **固定資産の売却益を原資に自己株取得を実施（上限100億円）**
 - ・取得期間 平成26年5月9日～平成26年9月5日
 - ・自己株式を除く発行済み株式総数に対する割合 2.71%

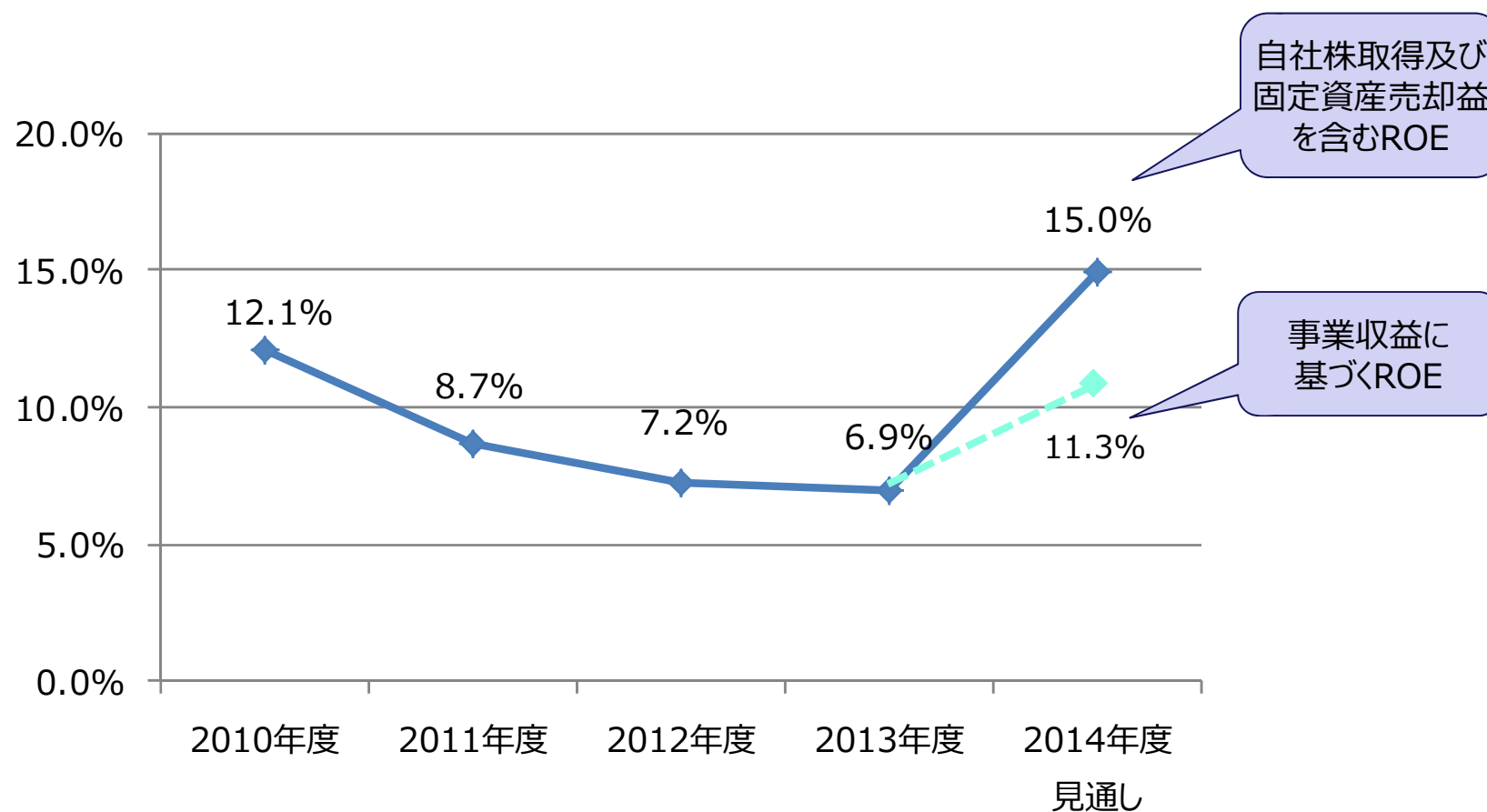


(株)ニッセイを連結子会社化したことに伴う、ニッセイ保有のブラザー工業株の取得

※配当総額は、対象の会計年度に決議された配当額を示す

ROEの推移

当期純利益の大幅増益及び自社株式の取得により、今期の予想ROEは15%となる見通し



2014年3月期の決算内容と
2015年3月期の見通し

2014年3月期 決算実績



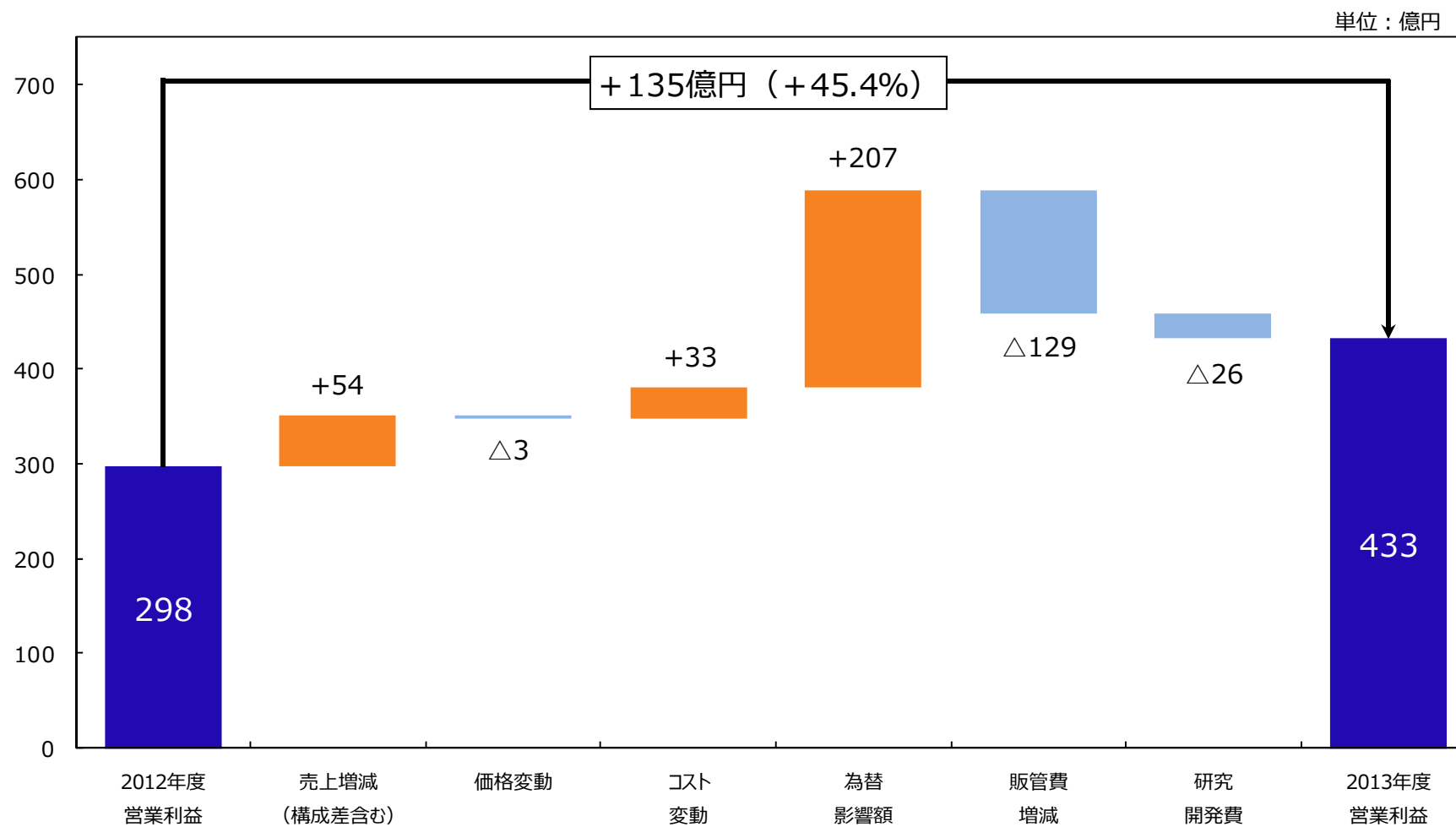
単位：億円

	通期実績					
	2014/3 実績	2013/3 実績	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率	2014/3 前回予想	増減額
売上高	6,168	5,161	1,008	19.5% (4.3%)	6,150	18
営業利益	433	298	135	45.4%	380	53
営業利益率	7.0%	5.8%			6.2%	
営業外損益	△ 77	△ 66	△ 11		△ 75	△ 2
経常利益	356	231	125	53.9%	305	51
特別損益	△ 21	48	△ 69		△ 5	△ 16
法人税他	143	101	42		145	△ 2
当期純利益	192	178	14	7.8%	155	37

単位：円

換算レート	USD	100.00	83.23	16.77	99.74
	EUR	134.01	107.57	26.44	133.45

営業利益増減要因 <2014年3月期 実績>

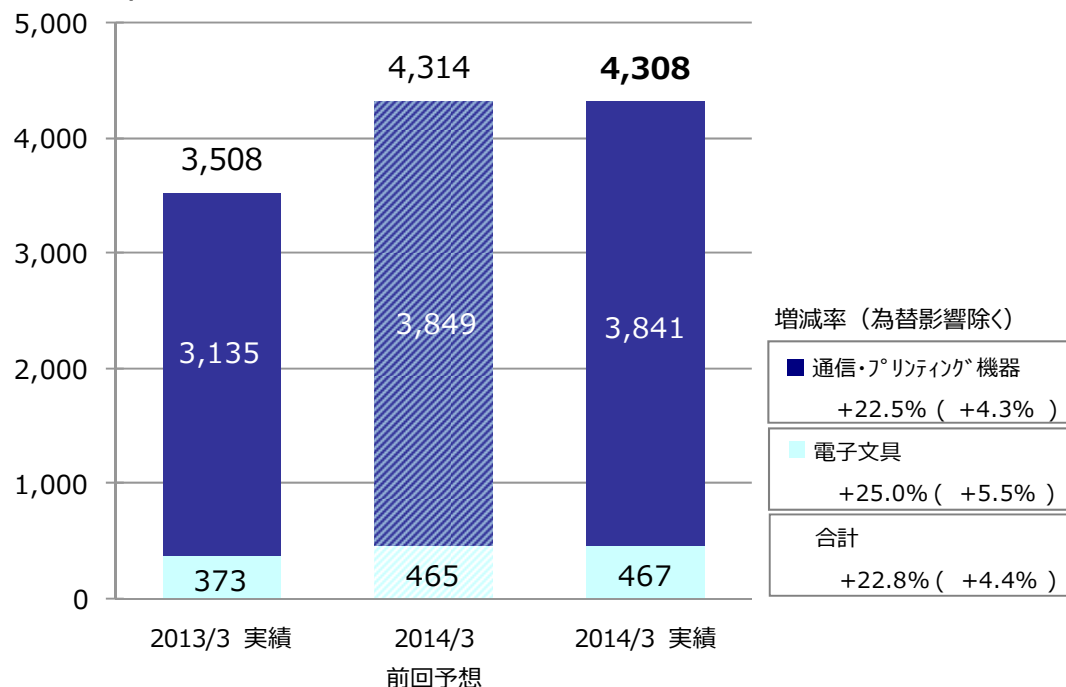


プリンティング & ソリューションズ 事業

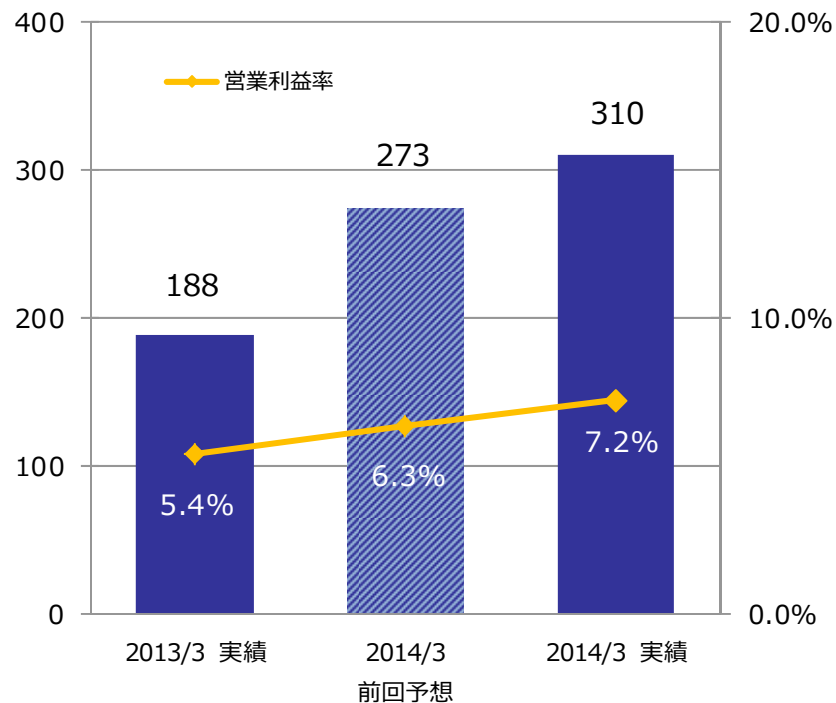
売上高・営業利益 <2014年3月期 実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器

地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 実績	2014/3 前回予想	2014/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	1,193	1,515	1,504	+26.1% (+6.0%)
欧州	1,081	1,321	1,327	+22.7% (△1.2%)
アジア他	406	513	514	+26.6% (+8.2%)
日本	454	500	497	+9.3% (+9.3%)

電子文具

地域別売上高内訳 (億円)

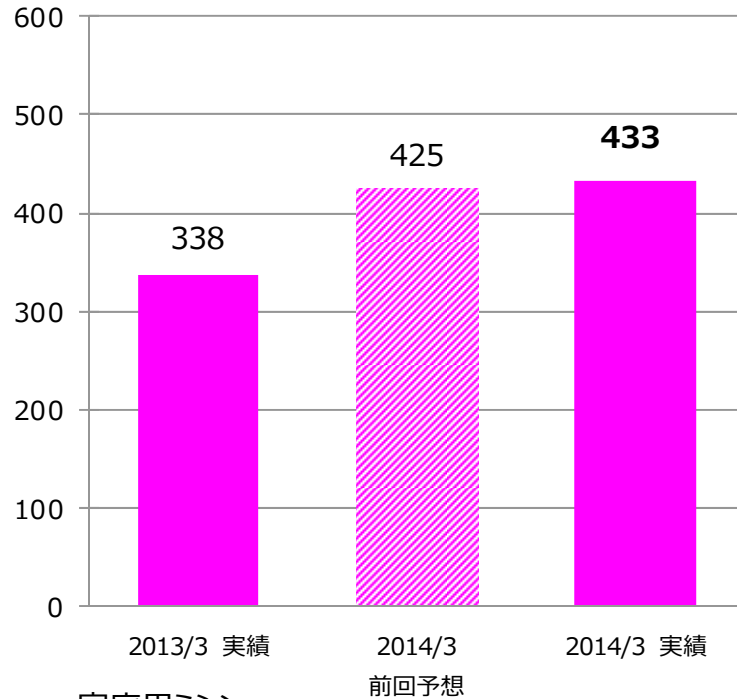
	2013/3 実績	2014/3 前回予想	2014/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	176	216	216	+23.1% (+3.0%)
欧州	114	145	147	+29.4% (+4.0%)
アジア他	43	56	56	+31.3% (+10.6%)
日本	41	48	47	+14.9% (+14.9%)

- 売上高は、為替のプラス効果により各地域で増収となる。
- 営業利益は、新規事業への先行投資や、上期に計上した一時費用などの圧迫要因はあるものの、為替のプラス影響により、大幅な増益となる。

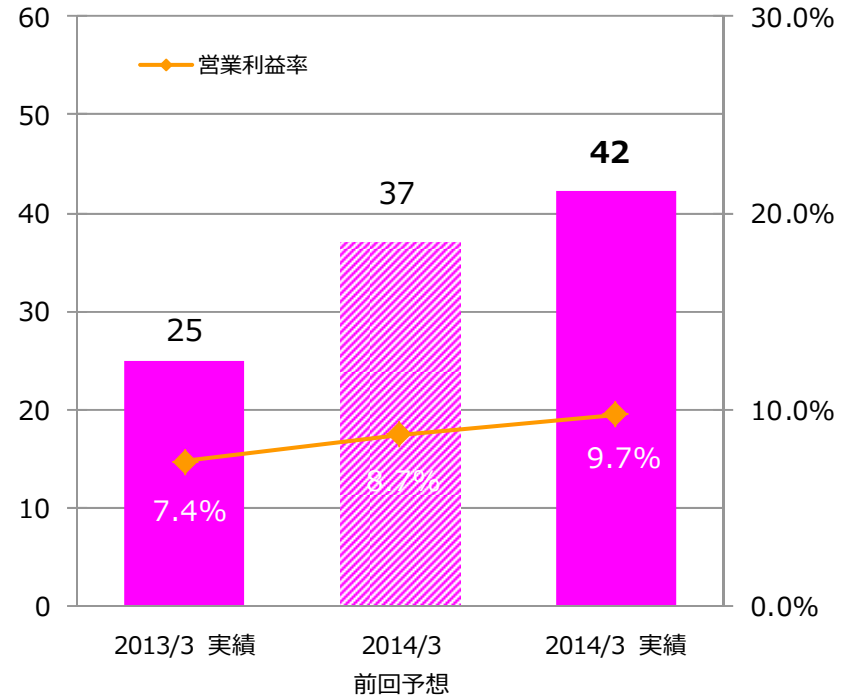
パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益 <2014年3月期 実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン
+28.0% (+9.1%)

家庭用ミシン 地域別売上高内訳 (億円)

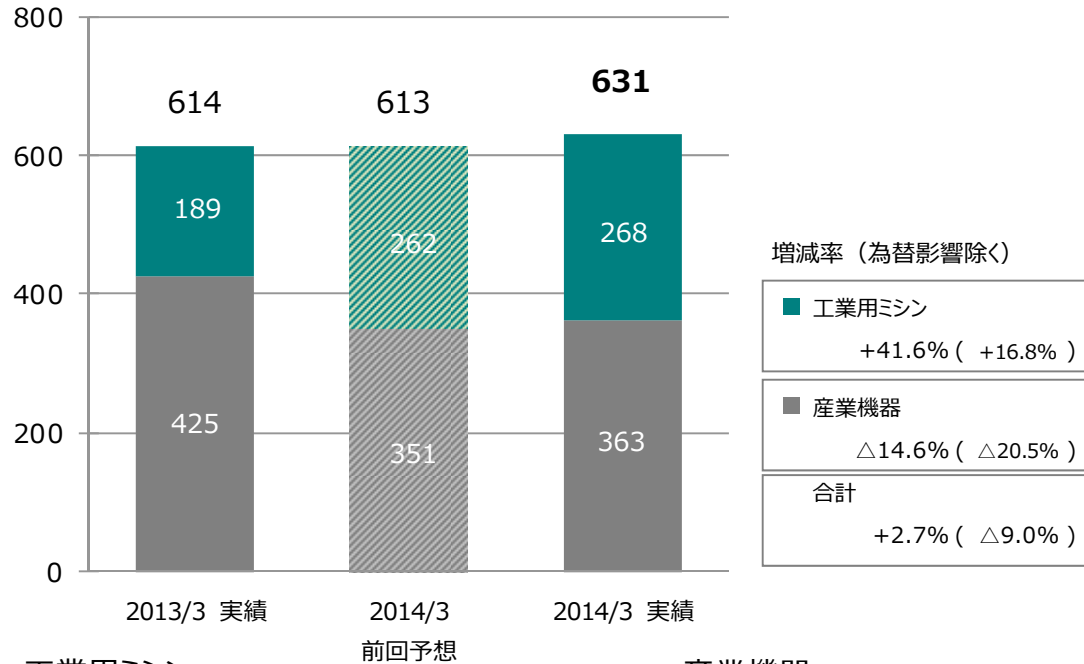
	2013/3 実績	2014/3 前回予想	2014/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	174	225	229	+31.6% (+10.1%)
欧州	78	103	107	+37.4% (+9.6%)
アジア他	28	36	36	+29.5% (+11.6%)
日本	59	61	61	+4.2% (+4.2%)

- 欧米での売上が堅調に推移し、増収となる
- 営業利益は、為替のプラス効果もあり、大幅な増益となる

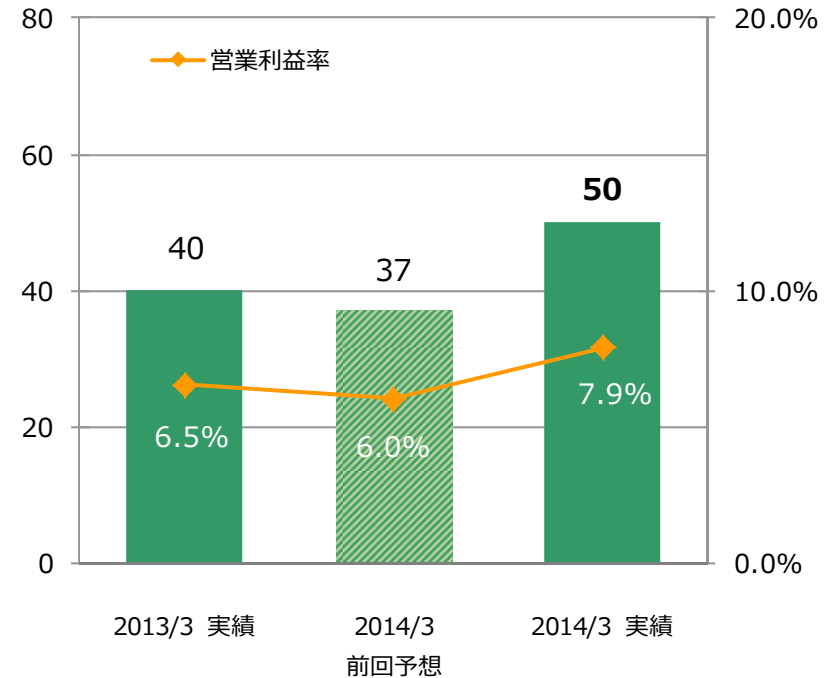
マシナリ&ソリューション事業 売上高・営業利益 <2014年3月期 実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 実績	2014/3 前回予想	2014/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	36	44	45	+24.0% (+2.8%)
欧州	30	37	38	+26.3% (+1.0%)
アジア他	117	175	178	+51.8% (+24.9%)
日本	5	6	7	+22.6% (+22.6%)

産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 実績	2014/3 前回予想	2014/3 実績	増減率
米州	20	21	21	+7.7%
欧州	11	14	16	+36.0%
アジア他	348	274	282	Δ 19.0%
日本	46	41	44	Δ 3.6%

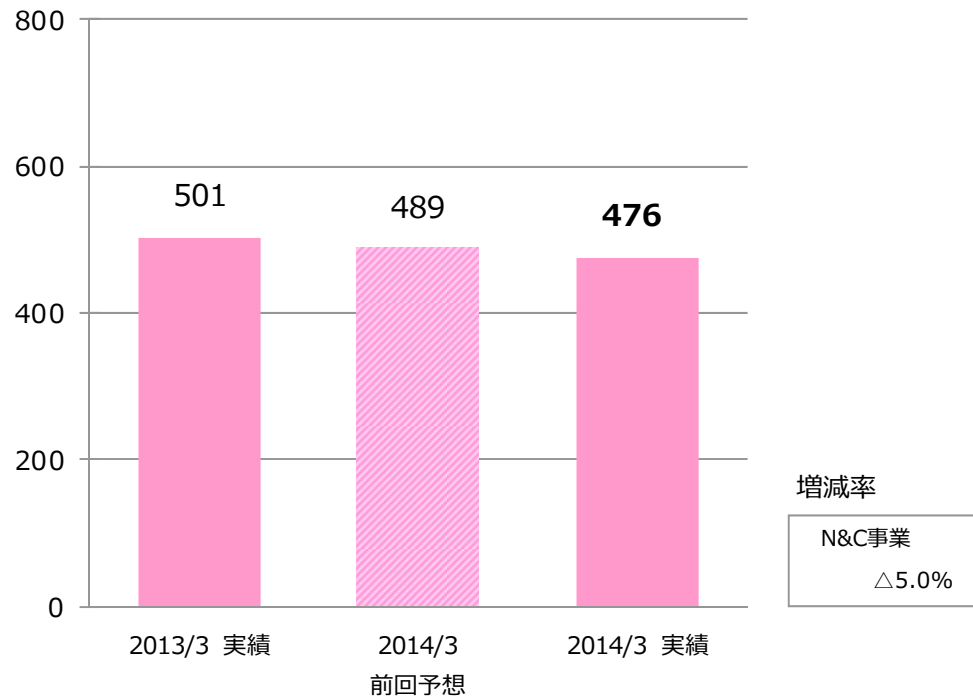
- 工業用マシンは、縫製産業の需要回復や、新製品効果により、増収となる
- 産業機器は、減収とはなるものの、下期にかけてIT関連の需要が拡大
- 工業用マシンの回復により、全体でも増益を達成

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

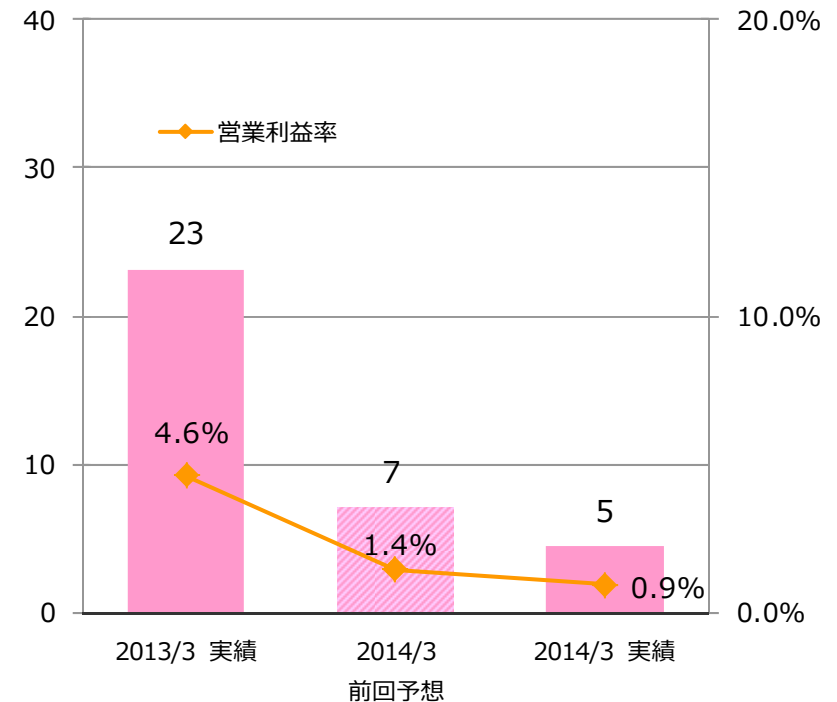
ネットワーク&コンテンツ事業 売上高・営業利益 <2014年3月期 実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



- 昨年発売したカラオケ機器の新製品効果が一巡した影響により、減収となる
- 減収及びカラオケ直営店のリニューアル費用などの販管費の増加により、大幅減益となる

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

2015年3月期 業績予想

単位：億円

	2015/3 予想	2014/3 実績	増減額	増減率
売上高	6,700	6,168	532	8.6% (8.2%)
営業利益	470	433	37	8.5%
営業利益率	7.0%	7.0%	△0.0%	
営業外損益	△40	△77	37	
経常利益	430	356	74	20.7%
特別損益	150	△21	171	
法人税他	120	143	△23	
当期純利益	460	192	268	139.3%

単位：円

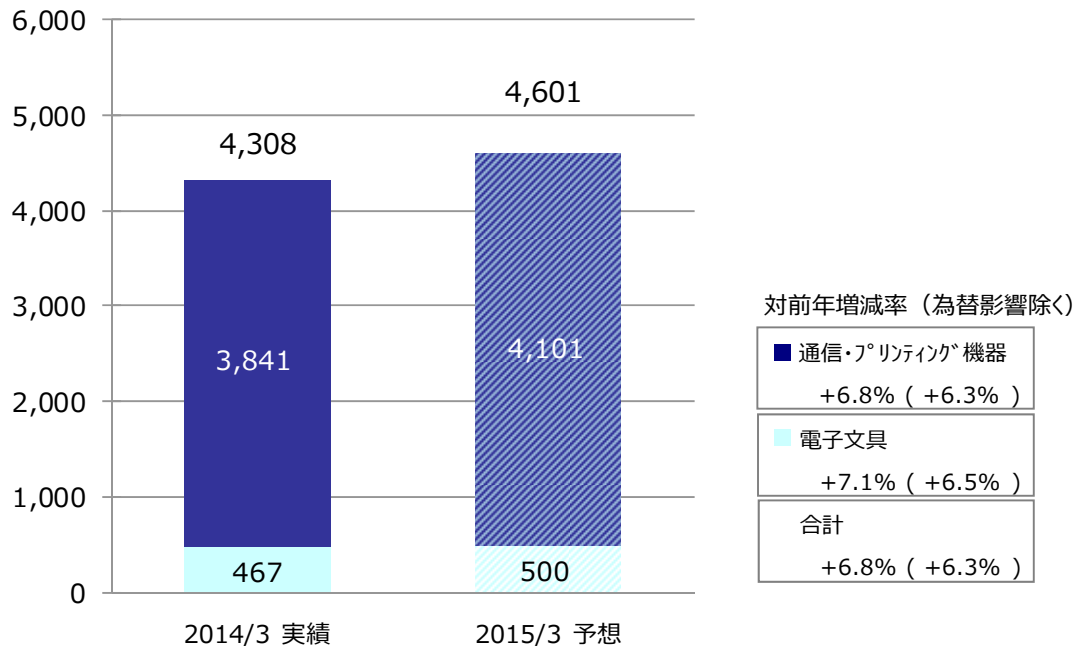
換算レート	USD	100.00	100.00	0.00
	EUR	138.00	134.01	3.99

プリンティング & ソリューションズ 事業

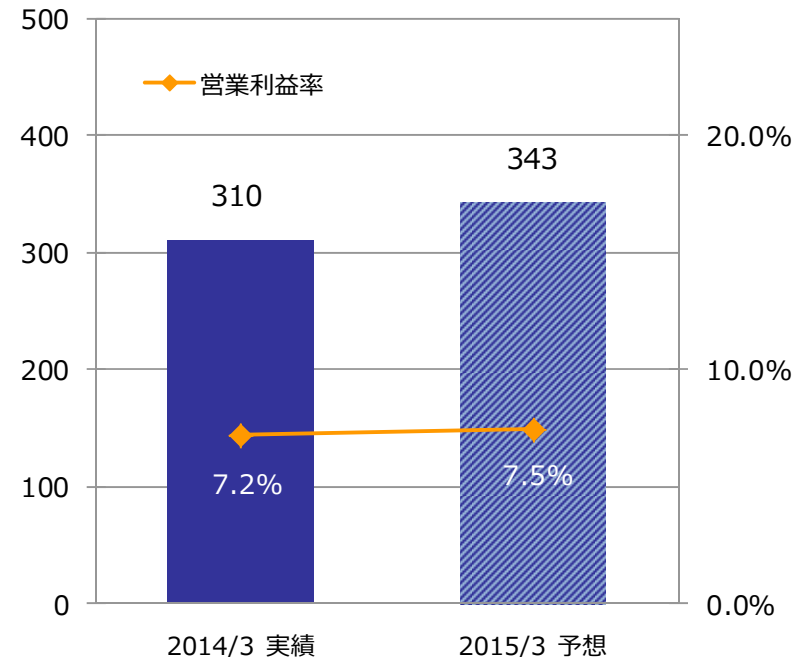
売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング 機器 地域別売上高内訳 (億円)

電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)		2014/3 実績	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	1,504	1,591	+5.8% (+6.5%)	米州	216	228	+5.5% (+6.2%)
欧州	1,327	1,389	+4.7% (+2.1%)	欧州	147	157	+6.8% (+3.9%)
アジア他	579	655	+13.1% (+14.1%)	アジア他	62	75	+20.6% (+20.8%)
日本	431	466	+8.1% (+8.1%)	日本	42	40	△3.7% (△3.7%)

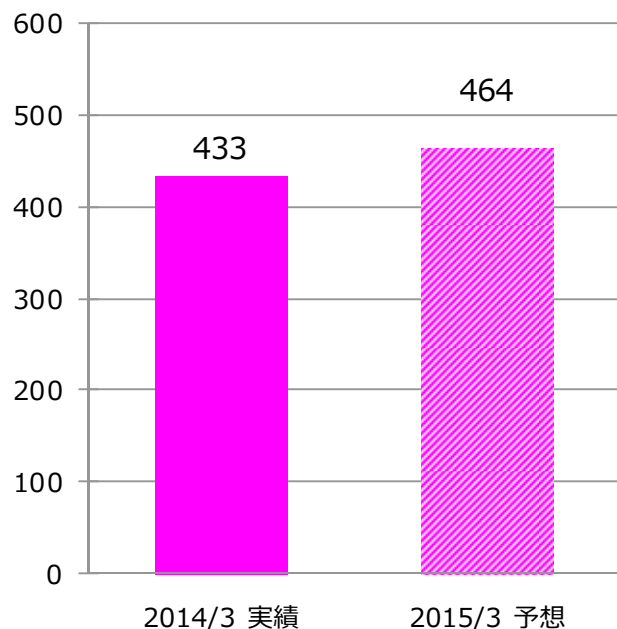
- 売上高は、積極的な販売投資により、全ての地域で増収を目指す
- 営業利益は、積極的な販売投資などの費用増加の影響はあるものの、為替のプラス効果もあり、増益を見込む

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

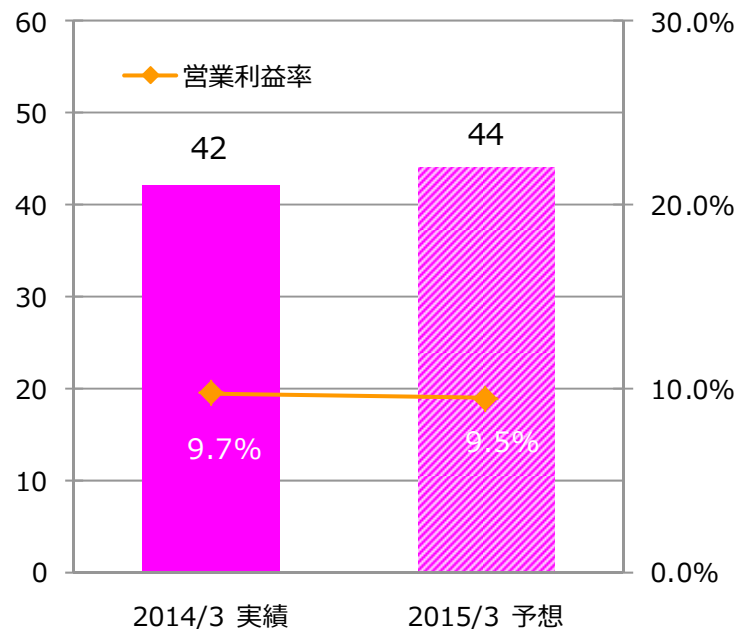
パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



対前年増減率 (為替影響除く)

家庭用マシン
+7.2% (+7.2%)

家庭用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	229	243	+6.1% (+7.1%)
欧州	107	110	+3.0% (+0.6%)
アジア他	46	58	+24.9% (+25.8%)
日本	51	53	+4.9% (+4.9%)

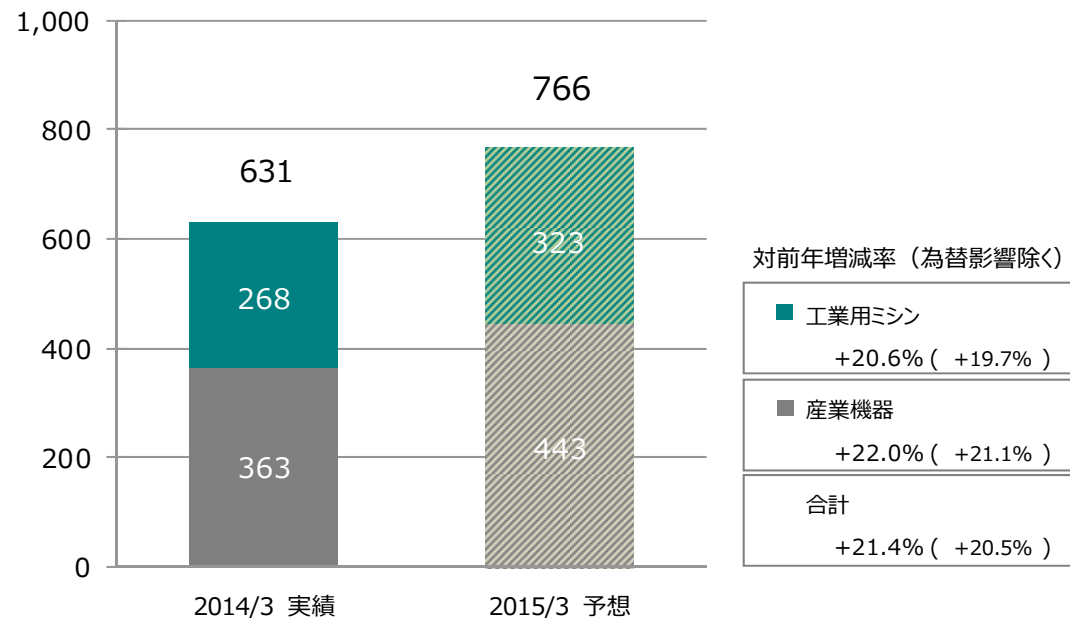
- ホビー市場の開拓と、新興国市場の開拓により、更なる売上拡大を目指す
- 売上増により、増益となる見通し

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

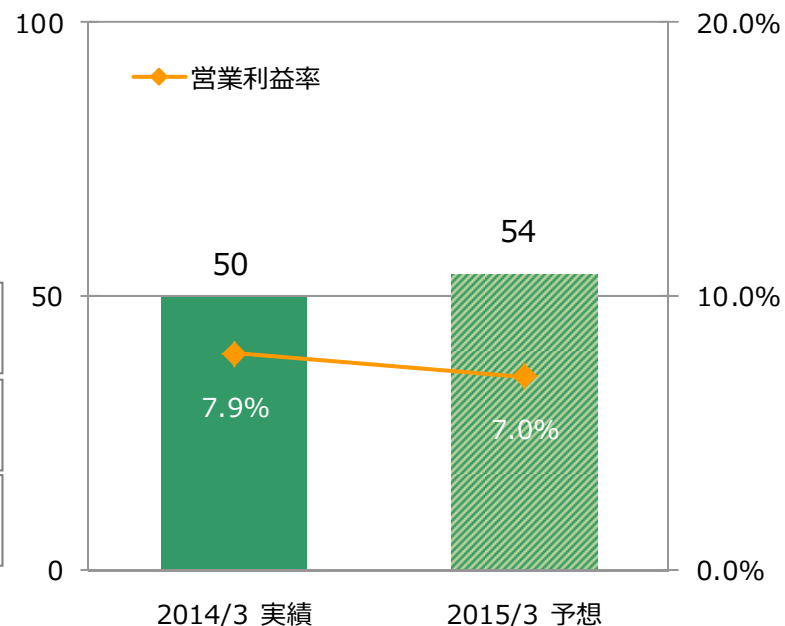
マシナリ&ソリューション事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	45	45	+0.2% (+0.4%)
欧州	38	44	+16.4% (+13.4%)
アジア他	178	229	+28.4% (+27.6%)
日本	7	5	△25.8% (△25.8%)

産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 予想	対前年増減率
米州	21	22	+2.5%
欧州	16	17	+9.0%
アジア他	282	358	+27.2%
日本	44	45	+2.7%

- 工業用マシンは、アジア市場の販売強化により、大幅増収を目指す
- 産業機器は、自動車関連顧客向けの販売強化により、増収を目指す
- 増収により、増益となる見通し

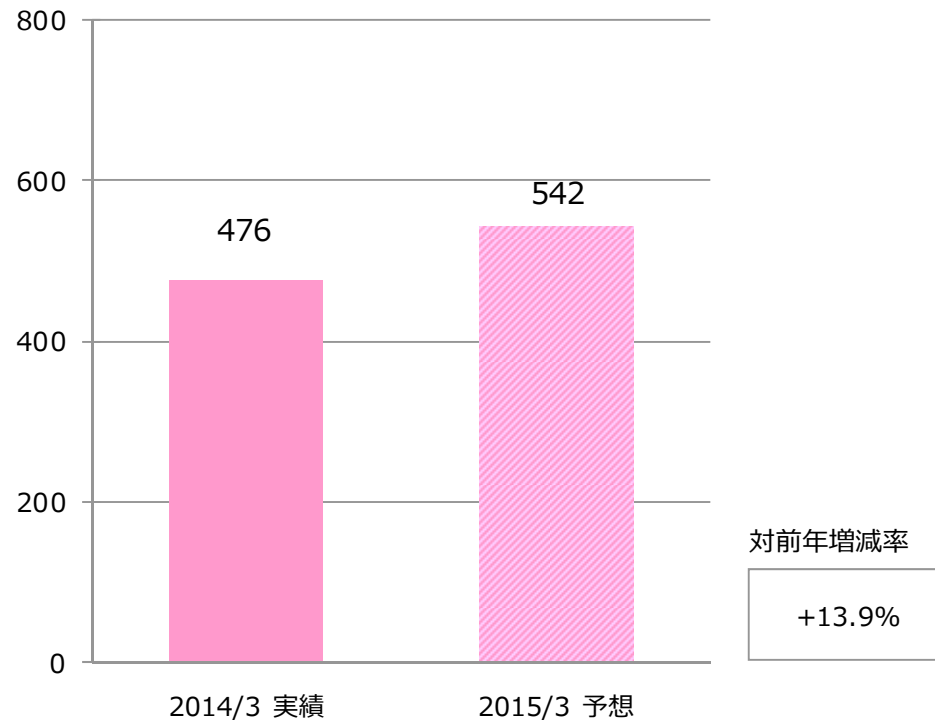
※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

ネットワーク&コンテンツ事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



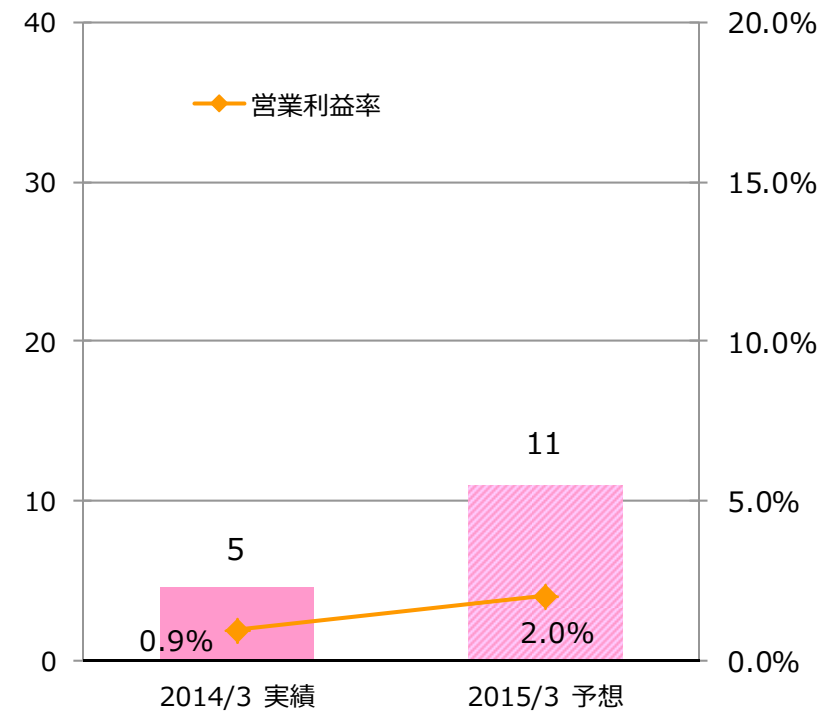
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



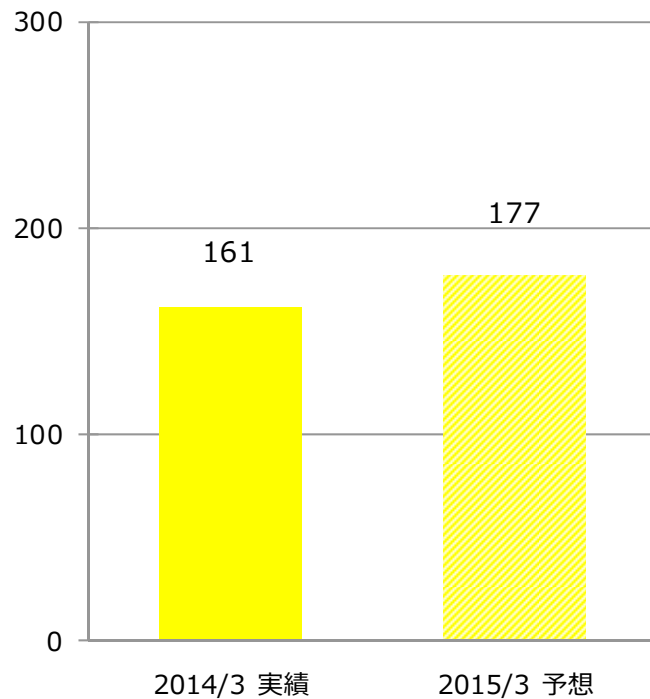
- (株)メディアクリエイトの統合など、カラオケ店舗事業の拡大により、増収となる見通し
- 増収により、増益となる見通し

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

工業用部品事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 通期予想>



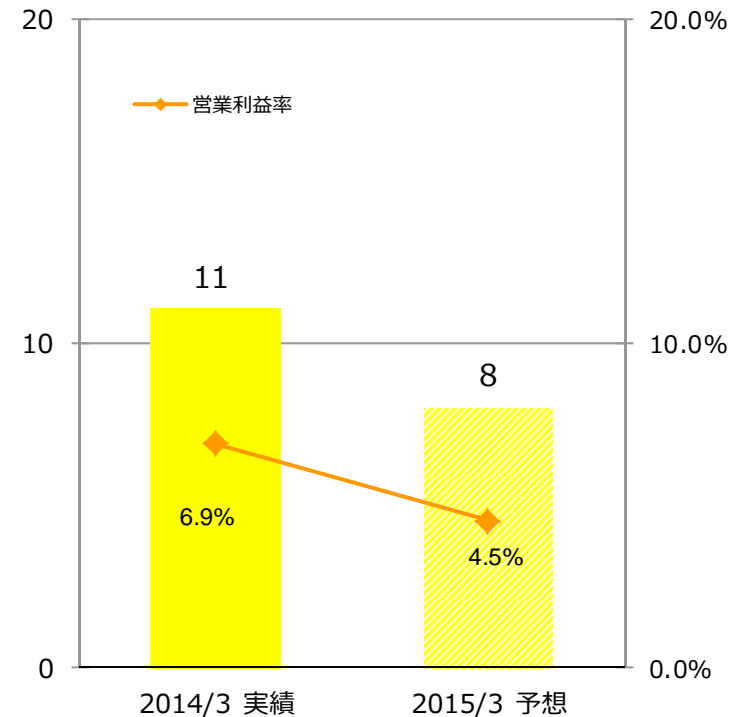
売上高 (億円)



対前年増減率

+9.9%

営業利益 (億円)



工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	20	29	+43.0% (+43.2%)
アジア他	0	5	- (-)
日本	141	143	+1.6% (+1.6%)

- 北米での販売強化により、海外売上への拡大を目指す
- 償却費などの固定費増により、減益となる見通し

連結決算の概要 < 2014年3月期 4Q (1-3月実績) >



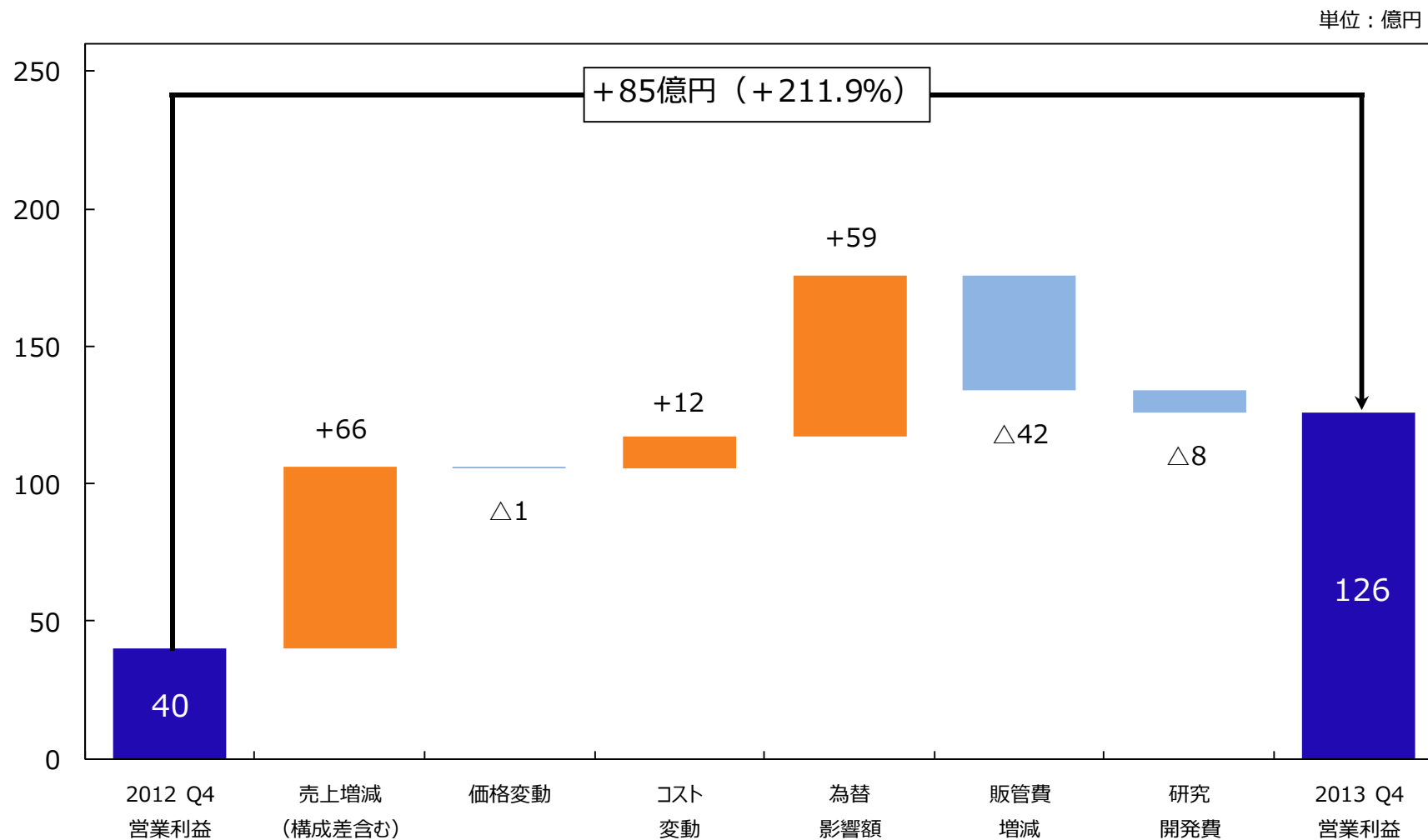
単位：億円

	【参考】 第4四半期 3ヶ月間			
	2014/3 4Q (3ヶ月実績)	2013/3 4Q (3ヶ月実績)	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	1,650	1,388	262	18.9% (8.9%)
営業利益	126	40	85	211.9%
営業利益率	7.6%	2.9%	4.7%	
営業外損益	△ 11	△ 30	19	
経常利益	115	10	105	1053.7%
特別損益	△ 22	49	△ 71	
法人税他	19	3	16	
当期純利益	74	56	18	32.8%

単位：円

換算レート	USD	103.28	91.07	12.21
	EUR	141.47	120.20	21.27

営業利益増減要因 <2014年3月期 4Q (1-3月実績)>

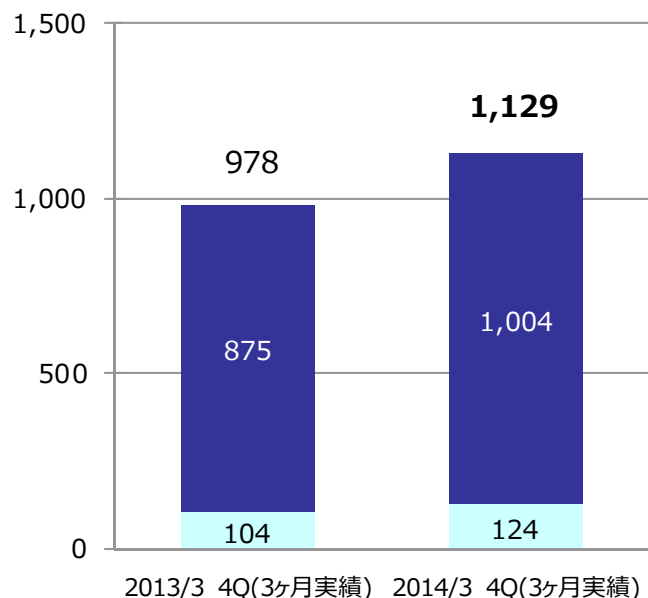


プリンティング & ソリューションズ 事業

売上高・営業利益 <2014年3月期 4Q (1-3月期)>



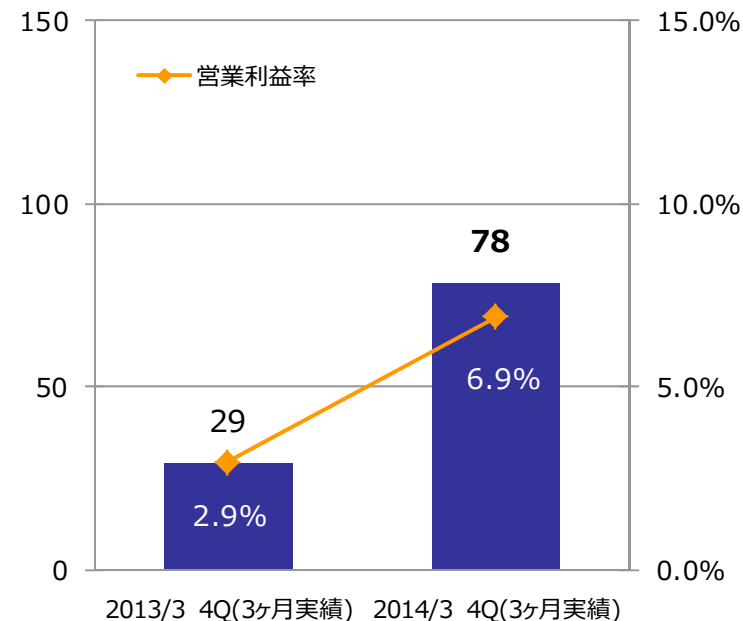
売上高 (億円)



増減率 (為替影響除く)

通信・プリンティング 機器	+14.8% (+3.4%)
電子文具	+19.8% (+7.1%)
合計	+15.4% (+3.8%)

営業利益 (億円)



通信・プリンティング 機器

地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 4Q(3ヶ月実績)	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	334	379	+13.3% (+2.6%)
欧州	325	377	+16.1% (△1.3%)
アジア他	110	127	+16.3% (+9.0%)
日本	106	121	+14.3% (+14.3%)

電子文具

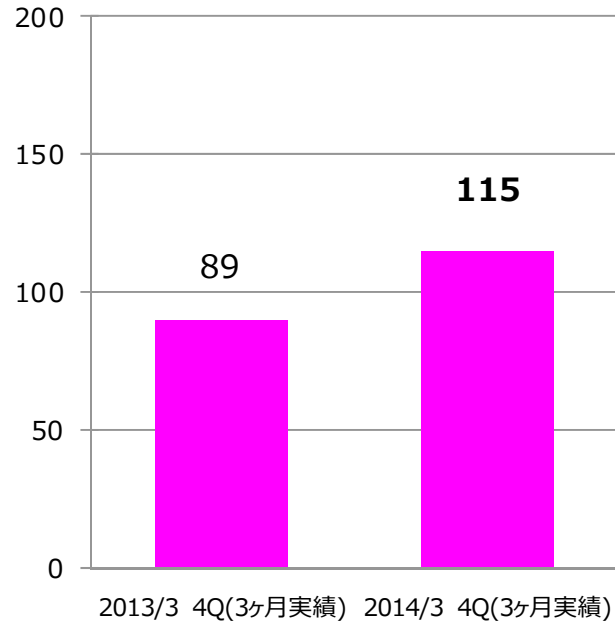
地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 4Q(3ヶ月実績)	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	46	54	+18.7% (+6.5%)
欧州	33	43	+28.7% (+9.3%)
アジア他	11	13	+15.3% (+5.9%)
日本	13	14	+4.9% (+4.9%)

- 売上高は全体的に堅調持続。欧州も需要環境は緩やかな回復基調。日本は消費増税前の駆け込み需要が押し上げ
- 営業利益は製品ミックスの改善及び為替のプラス影響により、増益となる

売上高

(億円)

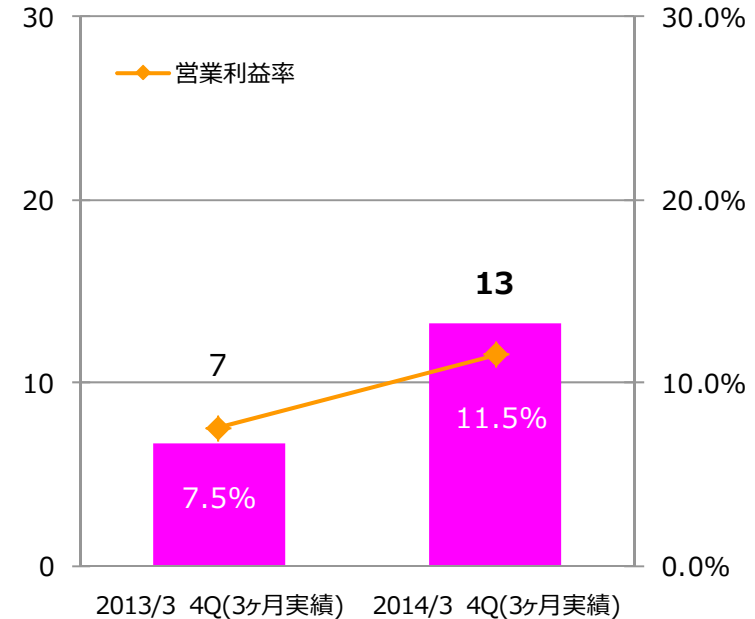


増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン
+28.8% (+17.2%)

営業利益

(億円)



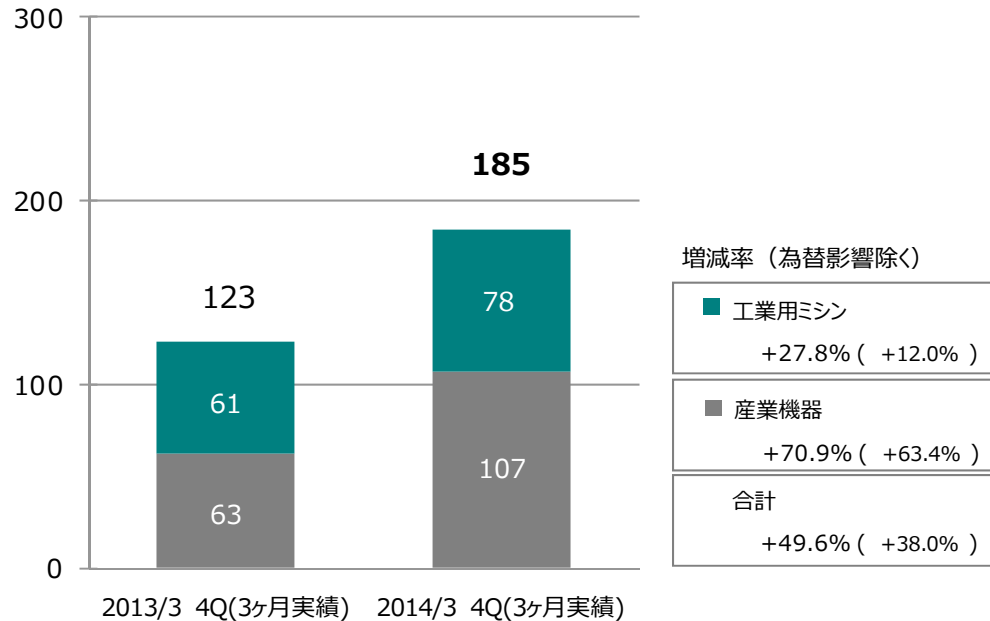
家庭用ミシン

地域別売上高内訳 (億円)

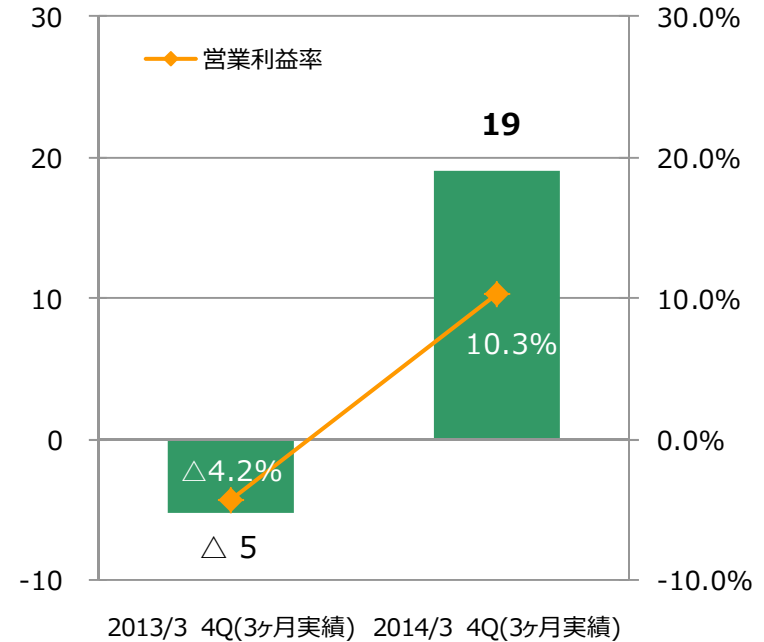
	2013/3 4Q(3ヶ月実績)	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	42	54	+27.6% (+15.1%)
欧州	21	30	+41.4% (+20.2%)
アジア他	7	9	+31.7% (+23.7%)
日本	19	22	+16.1% (+16.1%)

- 全地域での売上が好調に推移し、増収となる
- 営業利益は、為替のプラス効果もあり、大幅な増益となる

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 4Q(3ヶ月実績)	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	10	10	+1.0% (△10.0%)
欧州	9	11	+22.0% (+3.8%)
アジア他	40	54	+35.6% (+18.6%)
日本	2	2	+33.4% (+33.4%)

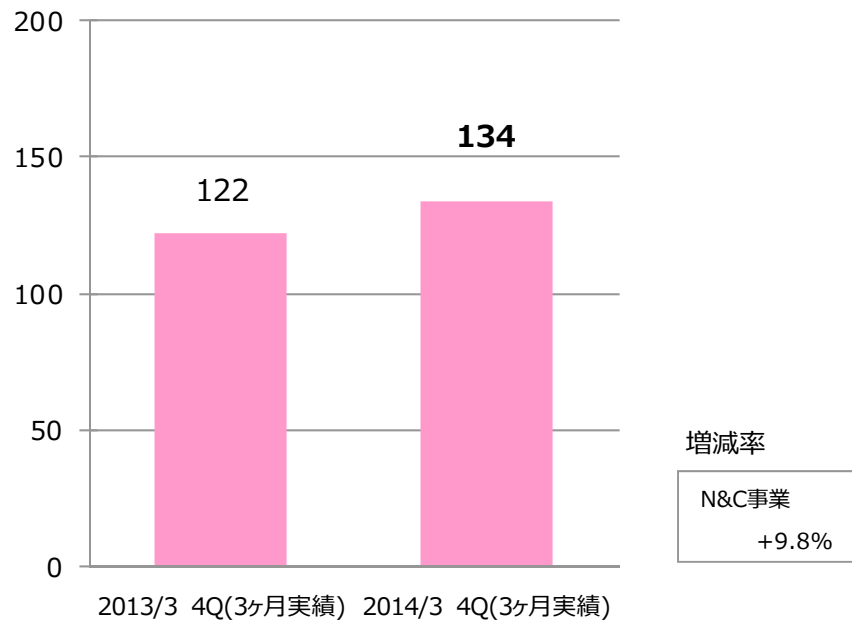
産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2013/3 4Q(3ヶ月実績)	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率
米州	6	5	△6.5%
欧州	3	4	+44.0%
アジア他	46	81	+76.5%
日本	8	16	+103.5%

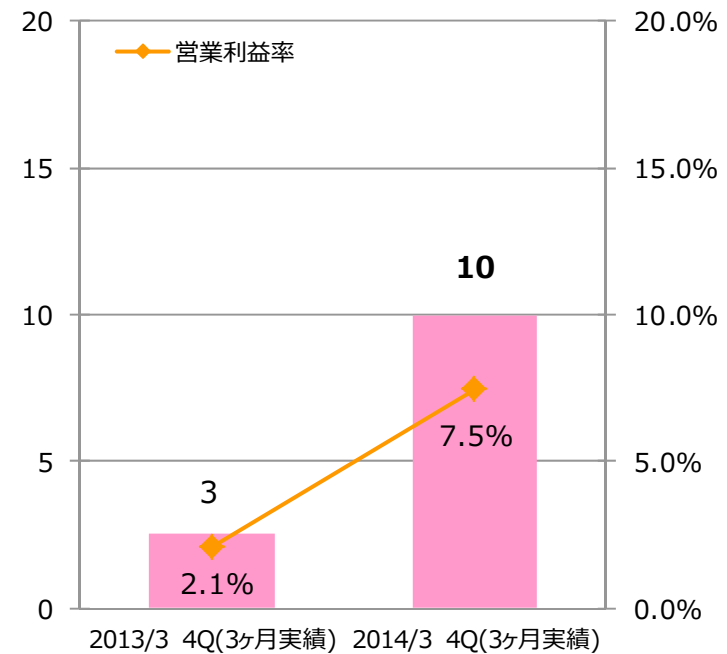
- ▶ 工業用マシンは、縫製産業の需要回復や、新製品効果により、増収となる
- ▶ 産業機器は、IT関連の需要回復により、増収となる
- ▶ 増収に伴い、黒字転換となる

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



- カラオケ機器販売の案件が積み上がり、増収となる。カラオケ店舗事業も増収を達成
- 増収により、増益となる

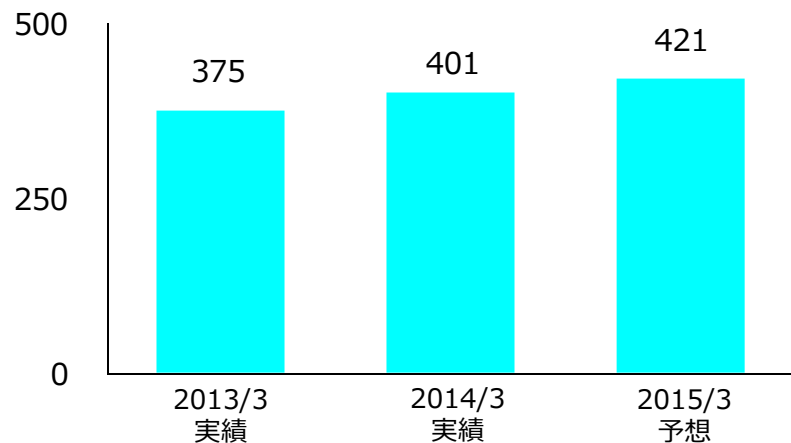
※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

研究開発費・設備投資・減価償却費・棚卸資産



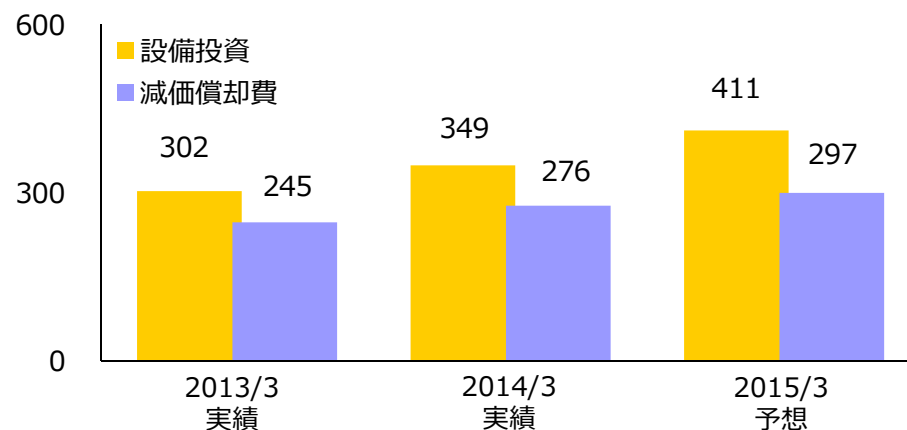
研究開発費

(億円)



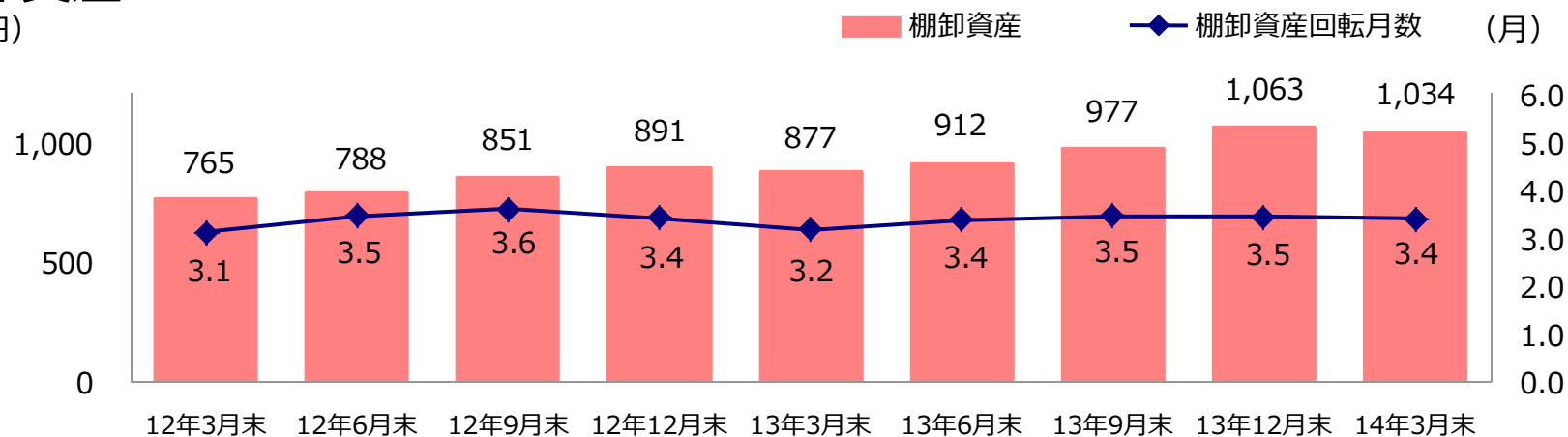
設備投資・減価償却費

(億円)



棚卸資産

(億円)



※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

<参考> 連結範囲の変更後の地域別売上高

➤ 連結範囲の変更後の基準に基づく地域別売上高及び増減率

◆ 通信・プリンティング機器

	12年度	13年度	増減率 (為替影響除く)
アジア他	450	579	+28.6% (+12.2%)
日本	410	431	+5.2%

◆ プリンティング&ソリューションズ事業

	12年度	13年度	増減率 (為替影響除く)
アジア他	497	641	+29.0% (+12.3%)
日本	447	472	+5.7%

◆ 電子文具

	12年度	13年度	増減率 (為替影響除く)
アジア他	47	62	+32.3% (+13.5%)
日本	37	42	+11.8%

◆ パーソナル&ホーム事業

	12年度	13年度	増減率 (為替影響除く)
アジア他	36	46	+27.3% (+13.4%)
日本	50	51	+1.3%

- 本年度の連結範囲の変更により、従来は「日本」にて開示していた数値の一部を、「アジア他」にて開示することとなりましたので、影響のある事業について、過年度（12年度・13年度）の数値を新基準に組み替えて表示したものです。

brother
at your side